

Intersight マネージドモードドメインで直接接続ストレージを設定します。

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[ダイレクトアタッチドストレージ\(DAS\)](#)

[設定](#)

[1. UCSドメインプロファイル](#)

[ステップ 1: VSANポリシーを設定します。](#)

[手順1.2ポートポリシーを設定する。](#)

[手順1.3スイッチ制御ポリシーの設定](#)

[手順1.4ドメインプロファイルの編集または作成](#)

[2. サーバプロファイル](#)

[手順2.1サーバプロファイルを作成する。](#)

[手順2.2 San接続ポリシーの作成](#)

[手順2.3 VHBA設定の構成](#)

[手順2.4 FCゾーンポリシーの作成](#)

[ステップ 3: SANからのブート \(オプション \)](#)

[手順3.1ブートオプションの設定](#)

[手順3.2 SANブートオプションの設定](#)

[手順3.3必要に応じてターゲットを追加し、順序を確認する](#)

[トラブルシューティング](#)

はじめに

このドキュメントでは、Intersight Managed Mode(IMM)ドメインのDirect Attached Storage (DAS ; 直接接続型ストレージ) の設定について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- UCSおよびIMMの知識
- ストレージエリアネットワーク(SAN)
- ファイバチャネルの概念

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- UCS-FI-6454、ファームウェア4.2(1)
- UCSX-210C-M6、ファームウェア4.2(1)

 注: Intersight マネージドモードでサポートされているファームウェアの最小バージョンは 4.1(3) です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

この設定を開始する前に、次の要件を満たしていることを確認してください。

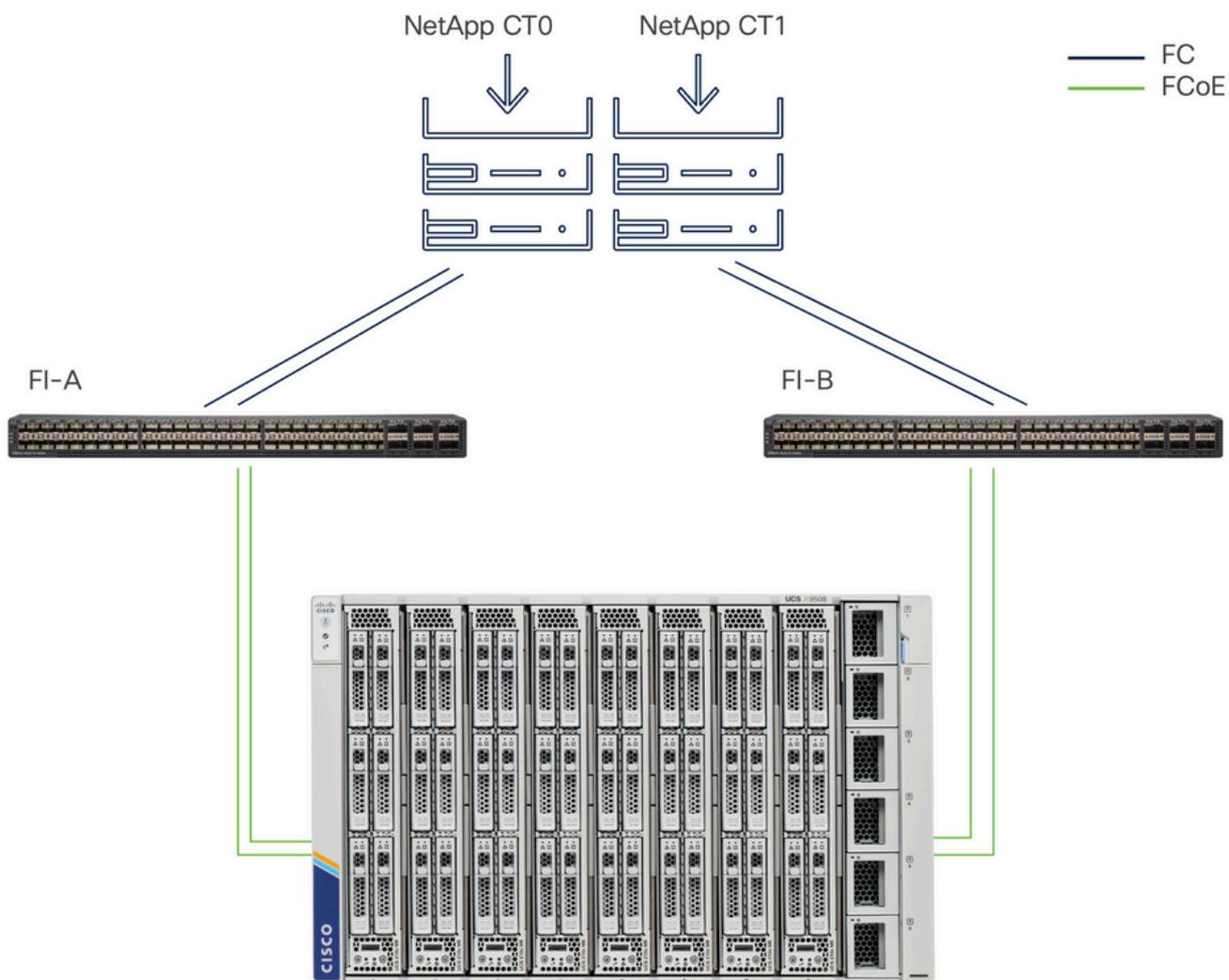
- 仮想ストレージエリアネットワーク(VSAN) ID
- Fibre Channel Over Ethernet(FCOE)VLAN ID
- イニシエータおよびターゲットからのWWPN(World Wide Port Name)
- 論理ユニット番号(LUN) ID

サーバおよびドメインプロファイルの設定に必要なポリシーとプールは次のとおりです。

- VSANポリシー
- ポートポリシー
- ブート順序ポリシー
- SAN接続ポリシー
- WWPNプール
- ファイバチャネルゾーンポリシー

ダイレクトアタッチドストレージ(DAS)

IMM管理対象サーバは、UCSMと同様にゾーンデータベースを構築できます。DASでは、ゾーン分割をプッシュするためにファイバ・スイッチを使用する必要はありません。この例では、次のトポロジを使用します。



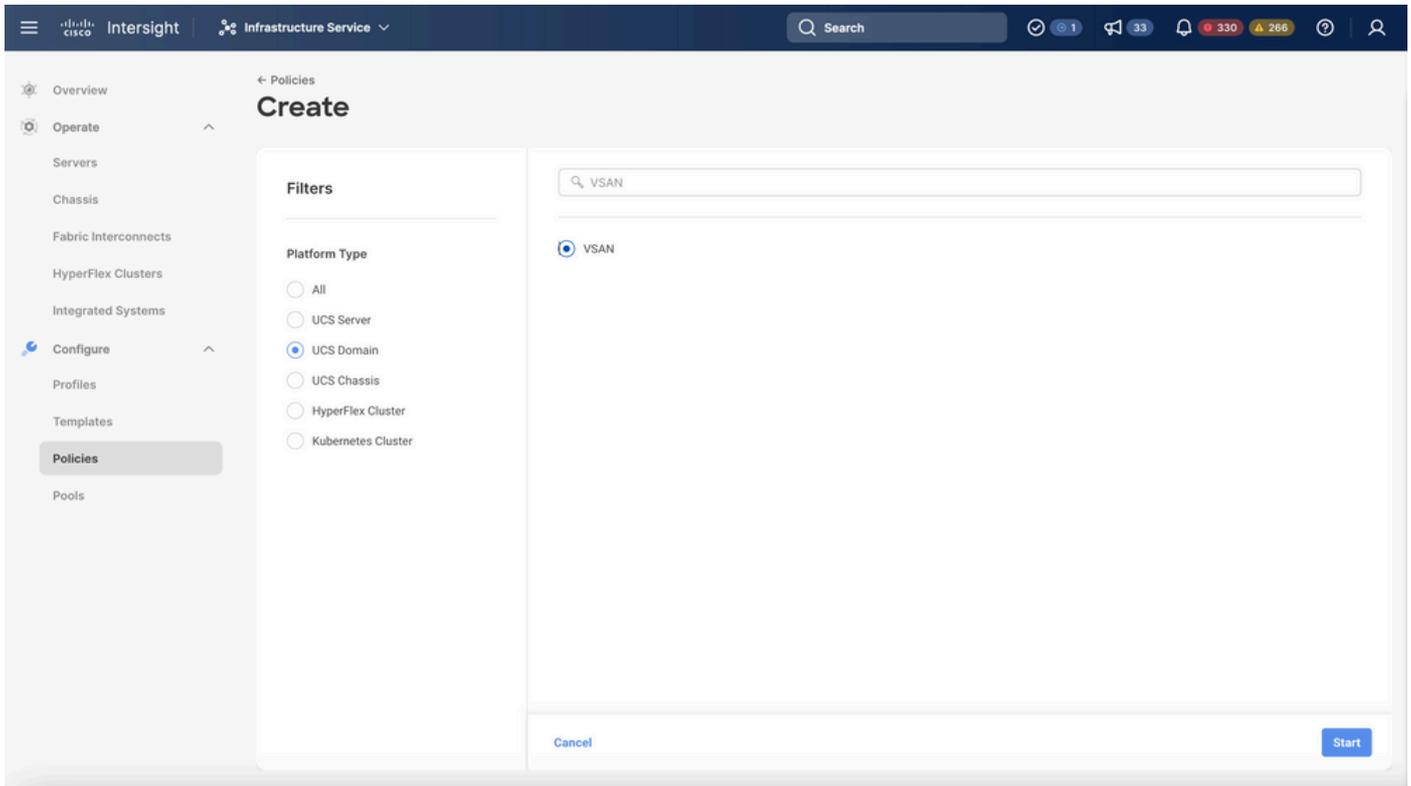
トポロジ

設定

1. UCSドメインプロファイル

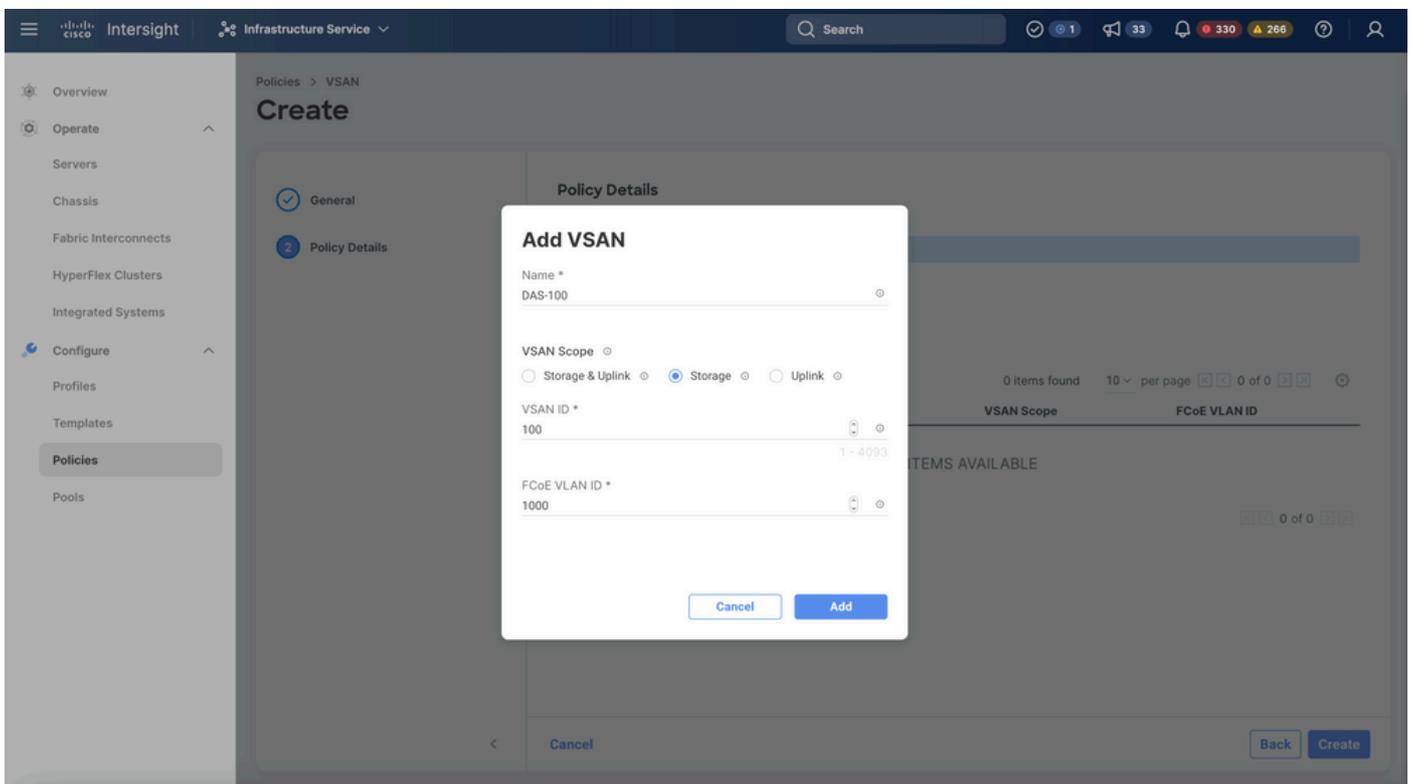
ステップ 1 : VSANポリシーを設定します。

- Policies > Create Policyの順に移動し、VSANを選択します。



UCS Domain Profileを選択してから、VSANを選択します

- ポリシーに名前を付け、必要なVSANを追加します。この例では、VSAN-A 100とFCOE VLAN 1000を使用しています。
- VSAN ScopeにStorageを選択します。

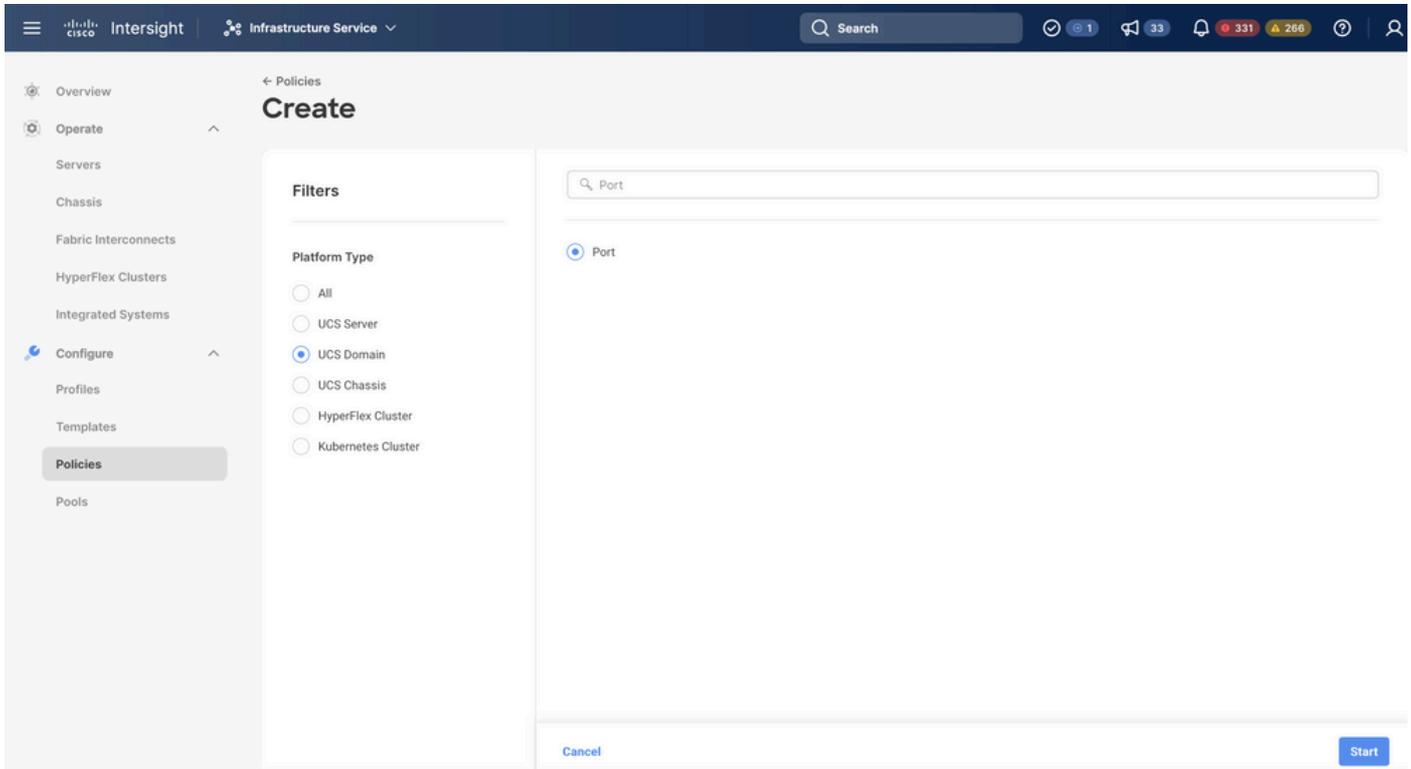


ストレージVSANはDAS設定に必要です。

 注:DASネットワークにはVSANスコープストレージが必要です。

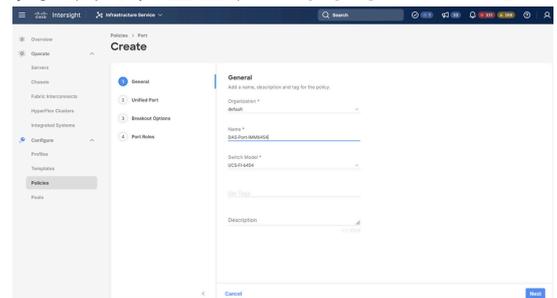
手順1.2ポートポリシーを設定する。

- Policies > Create Policyの順に移動し、Portを選択します。



ポートポリシーの作成

- 名前を入力し、リストからスイッチモデルを選択します。次に、ユニファイドポートまたは



ブレイクアウトポートを設定します (必要な場合) 。

ポートポリシー名

- Port Rolesで、FC Storageに必要なポートを選択し、Configureをクリックします。

<input type="checkbox"/>	Name	Type	Role	Connected D...	Device Num...	Port Channel	Mode
<input checked="" type="checkbox"/>	port 1	FC	Unconfigured			-	
<input type="checkbox"/>	port 2	FC	Unconfigured			-	
<input type="checkbox"/>	port 3	FC	Unconfigured			-	
<input type="checkbox"/>	port 4	FC	Unconfigured			-	

ポートのロール

 ヒント：必要に応じて、この手順で追加のインターフェイスをサーバポートまたはイーサネットアップリンクポートとして設定します。

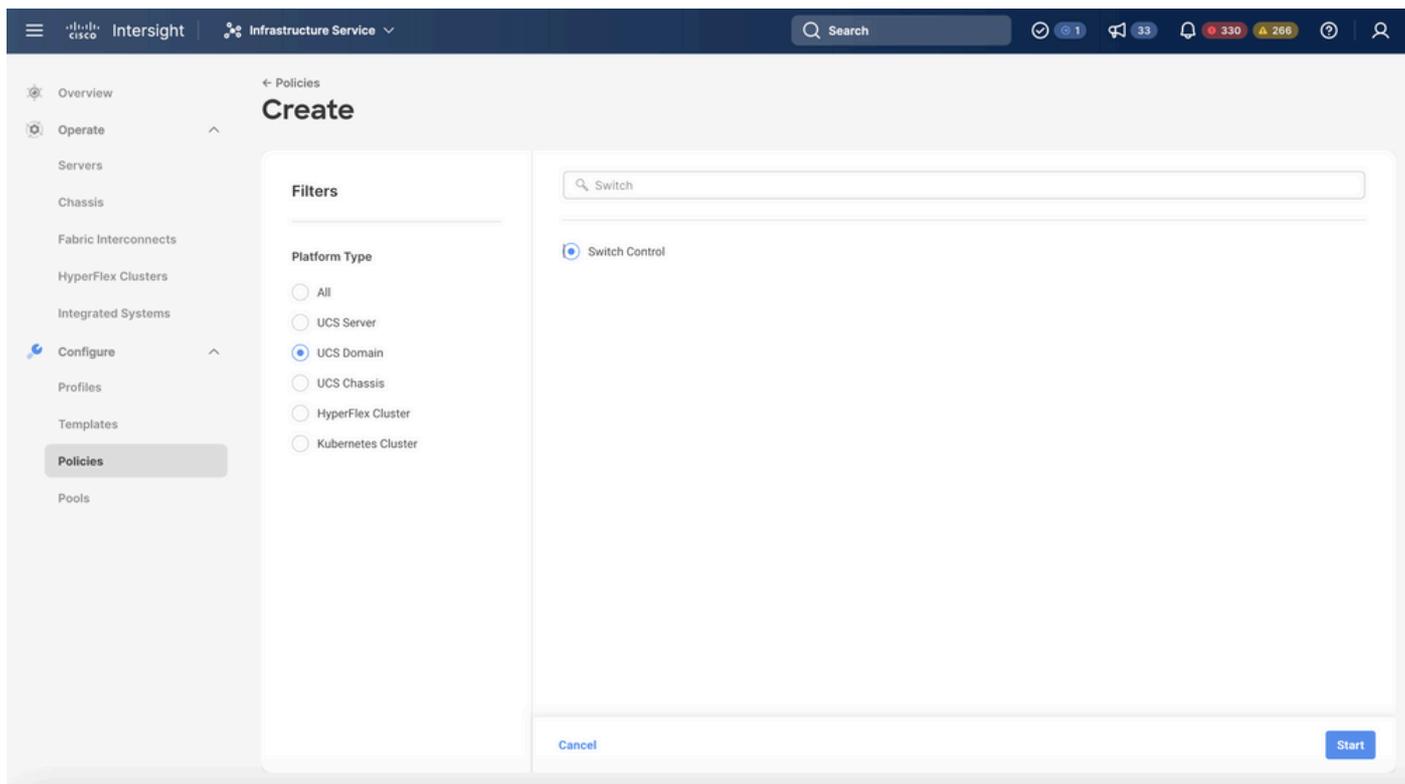
- ロールとしてFC Storage、Admin speed、および必要なVSANを選択します。

ポートのロール

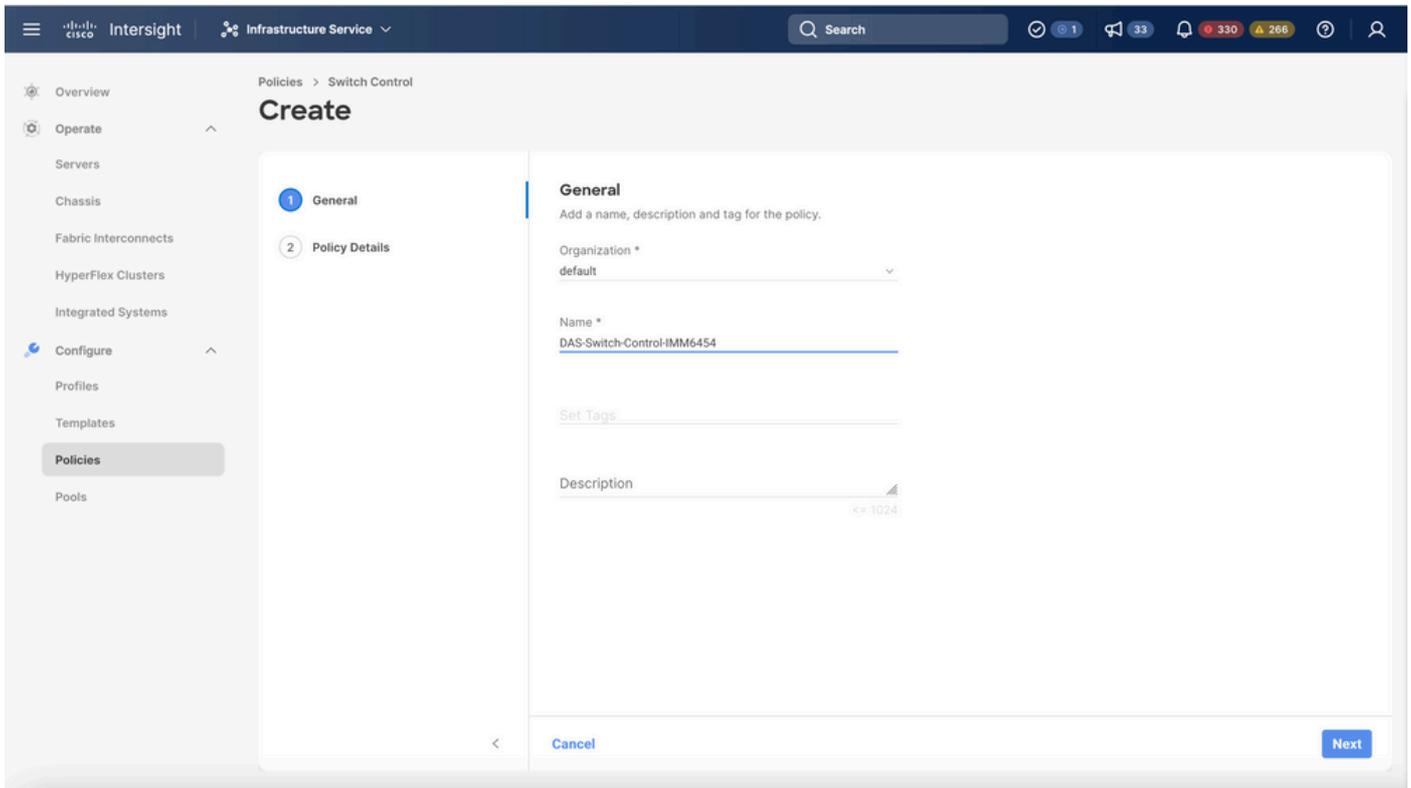
手順1.3スイッチ制御ポリシーの設定

UCSドメインでは、FCスイッチングモードはエンドホストまたはスイッチです。スイッチモードでは、ファブリックインターコネクトをストレージデバイスに直接接続できます。ファイバチャネルスイッチモードは、SANが存在しないモデル（たとえば、単一のCisco UCSシステムがストレージに直接接続されているモデル）で役立ちます。スイッチ制御ポリシーは、IMMドメインのFCスイッチングモードを設定します。

- Policies > Create Policyの順に移動し、Switch Controlを選択します。

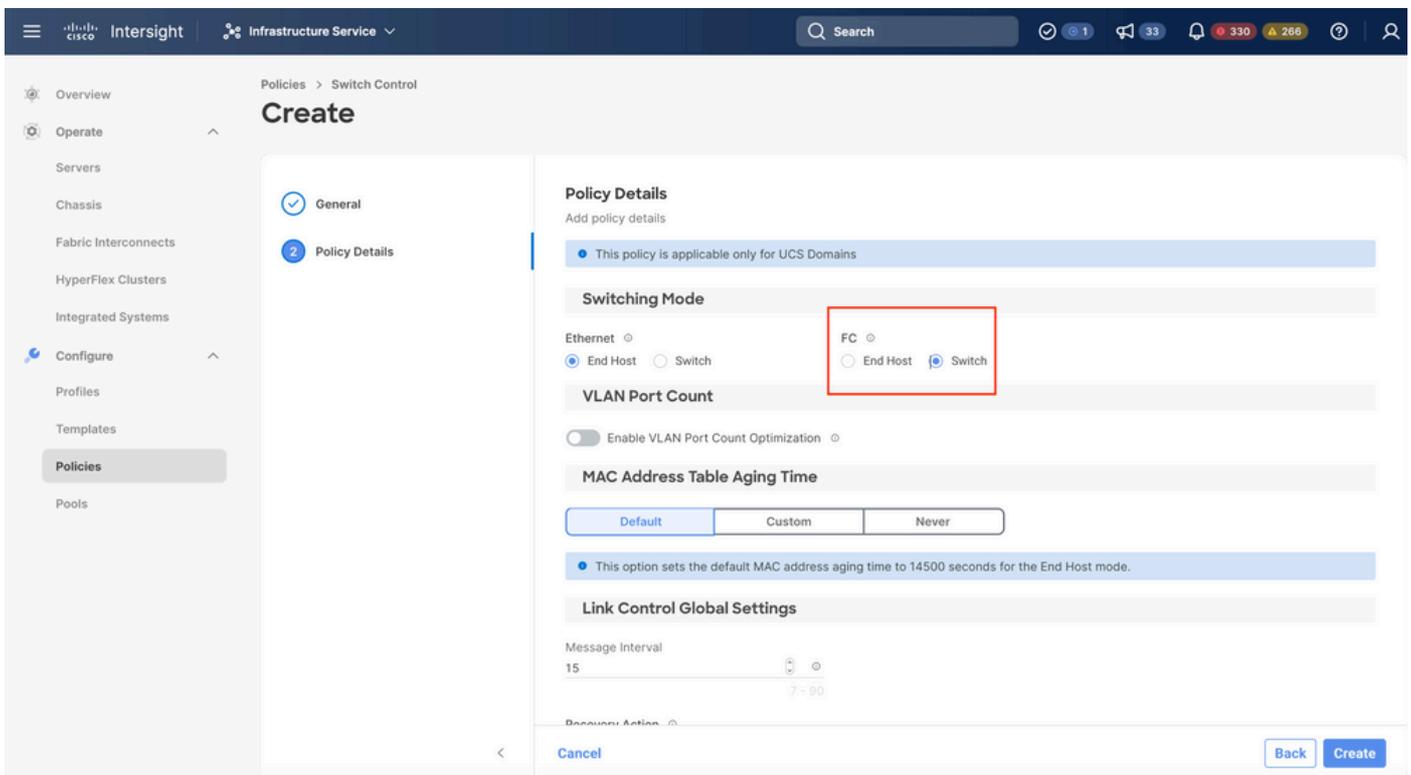


スイッチ制御ポリシー



スイッチ制御ポリシー名

- FC Switch Modeを選択し、Createをクリックします。



FCスイッチモード

手順1.4ドメインプロファイルの編集または作成

- これで、ドメインプロファイルにポリシーを追加できます。Profilesタブ> UCS Domain

Profiles > Edit Domain profile (プロファイルがすでに存在する場合) または Create ドメインプロファイルに移動し、必要なポリシーをドメインプロファイルに追加します。

2. サーバプロファイル

手順2.1 サーバプロファイルを作成する。

- Policies タブ > Create UCS Server Profile の順に移動します。
- 名前を入力し、ターゲットプラットフォームを選択します。

手順2.2 San接続ポリシーの作成

- 既存のSAN接続ポリシーをプロファイルに接続するか、新しいポリシーを作成する
- ポリシーの名前を入力します。
- WWNN プールを選択し、必要なVHBAを追加します。

The screenshot shows the 'Edit' page for a policy in the Cisco Intersight interface. The breadcrumb trail is 'Policies > SAN Connectivity > DAS-SAN-Conn'. The page title is 'Edit'. The left sidebar shows navigation options like 'Overview', 'Operate', 'Servers', 'Chassis', 'Fabric Interconnects', 'HyperFlex Clusters', 'Virtualization', 'Integrated Systems', 'Analyze', 'Explorer', 'Configure', 'Profiles', 'Templates', 'Policies', and 'Pools'. The main content area is titled 'Policy Details' and includes a sub-section 'Add policy details' with two tabs: 'Manual vHBAs Placement' (selected) and 'Auto vHBAs Placement'. Below this, there is a 'WWNN' section with two tabs: 'Pool' (selected) and 'Static'. Under 'WWNN Pool', the selected pool is 'WWNN_POOL'. A blue information banner states: 'For manual placement option you need to specify placement for each vHBA. Learn more at Help Center'. There is an 'Add vHBA' button and a 'Graphic vHBAs Editor' button. Below these is a table with the following data:

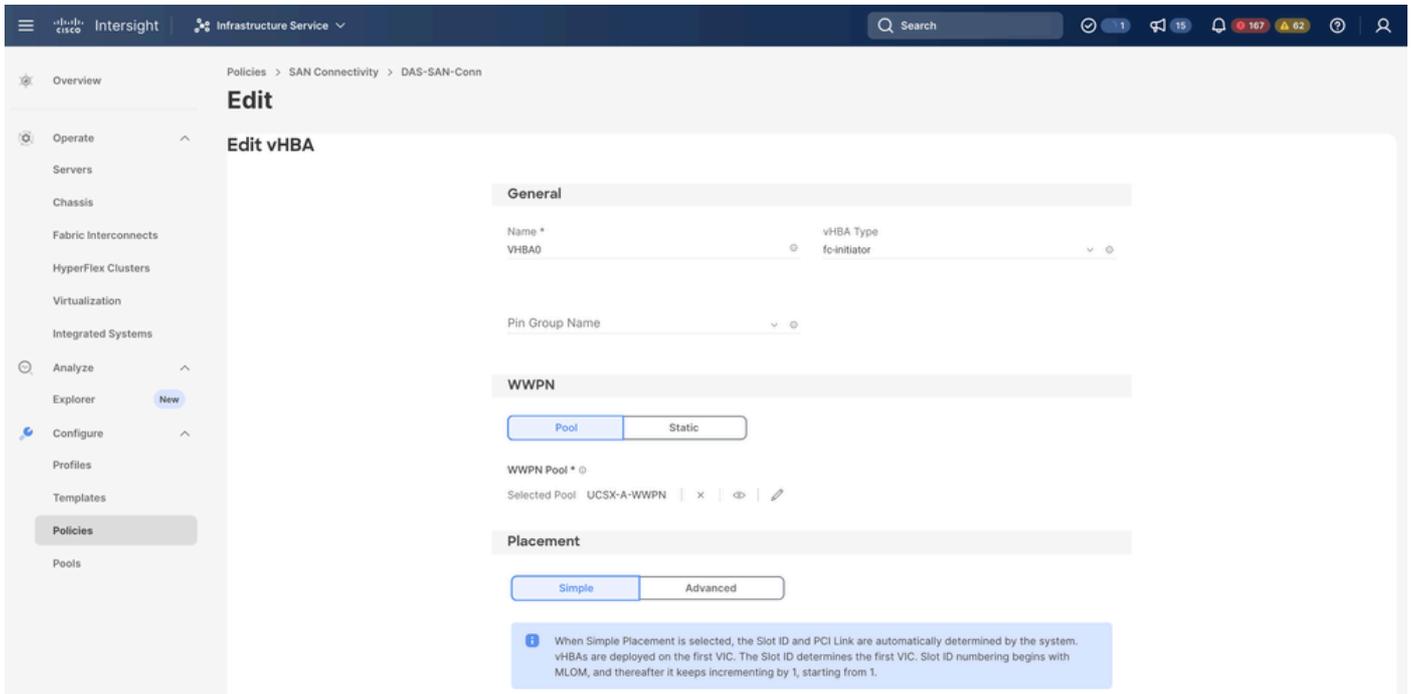
Name	Slot ID	Switch ID	PCI Order	Pin Group	WWPN Pool
VHBAA0	Auto	A	0	-	UCSX-A-WWPN
VHBAA1	Auto	B	1	-	UCSX-WWPN_B

At the bottom of the page, there are 'Cancel', 'Back', 'Save', and 'Save & Deploy' buttons.

San接続ポリシー

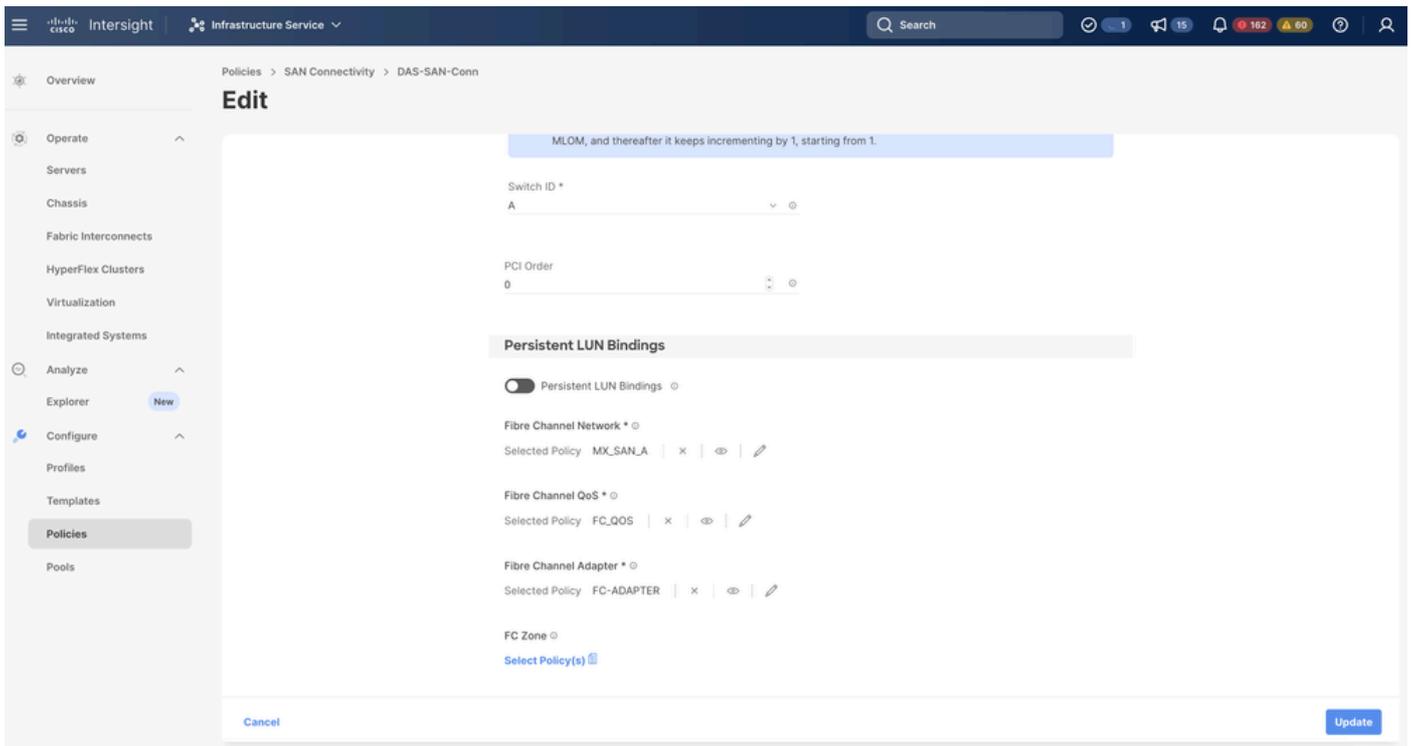
手順2.3 VHBA設定の構成

- Name、WWPN、その他のアダプタポリシーなど、必要な設定でVHBAを編集します。



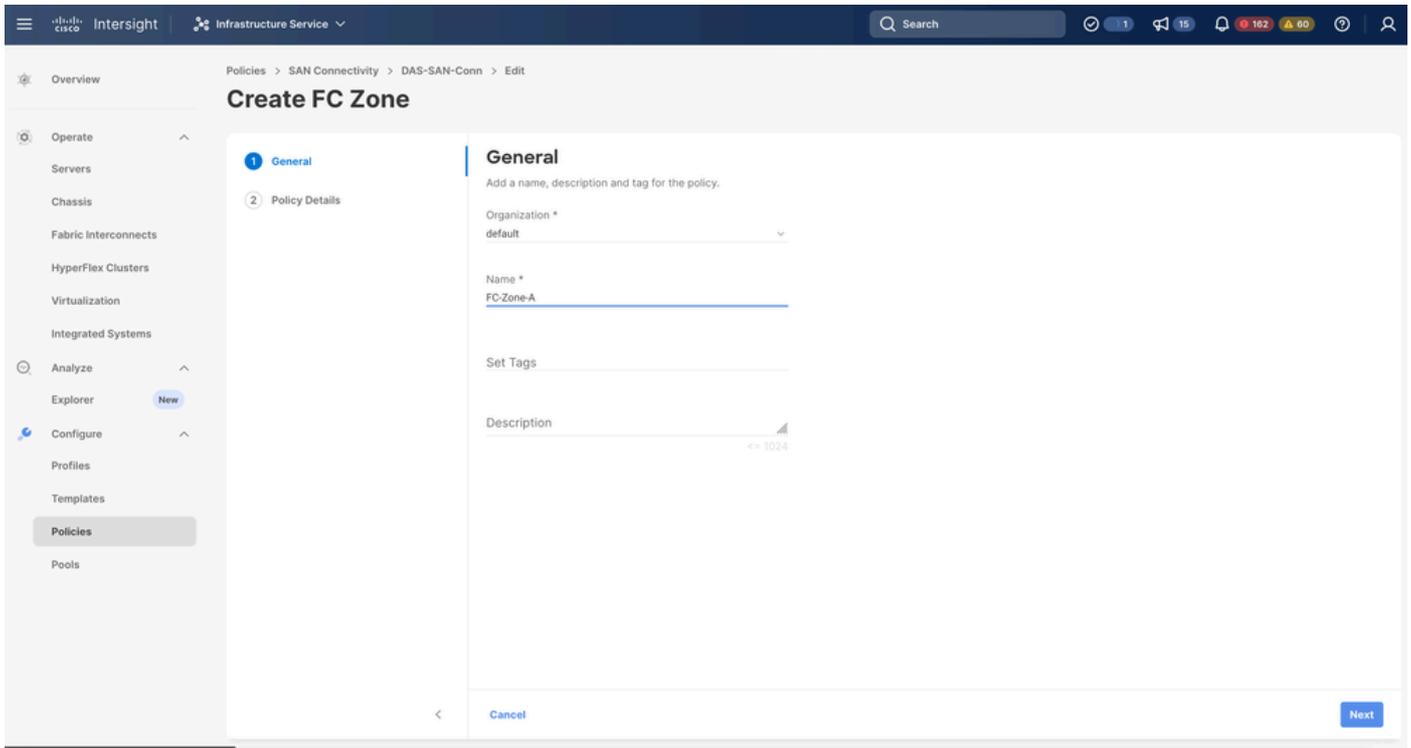
VHBAの設定

- VHBAのポリシー選択を続行し、「FC Zone」で「Policy(s)」をクリックし、リストから「Create a new or Select Existing FC Zone policy」を選択します



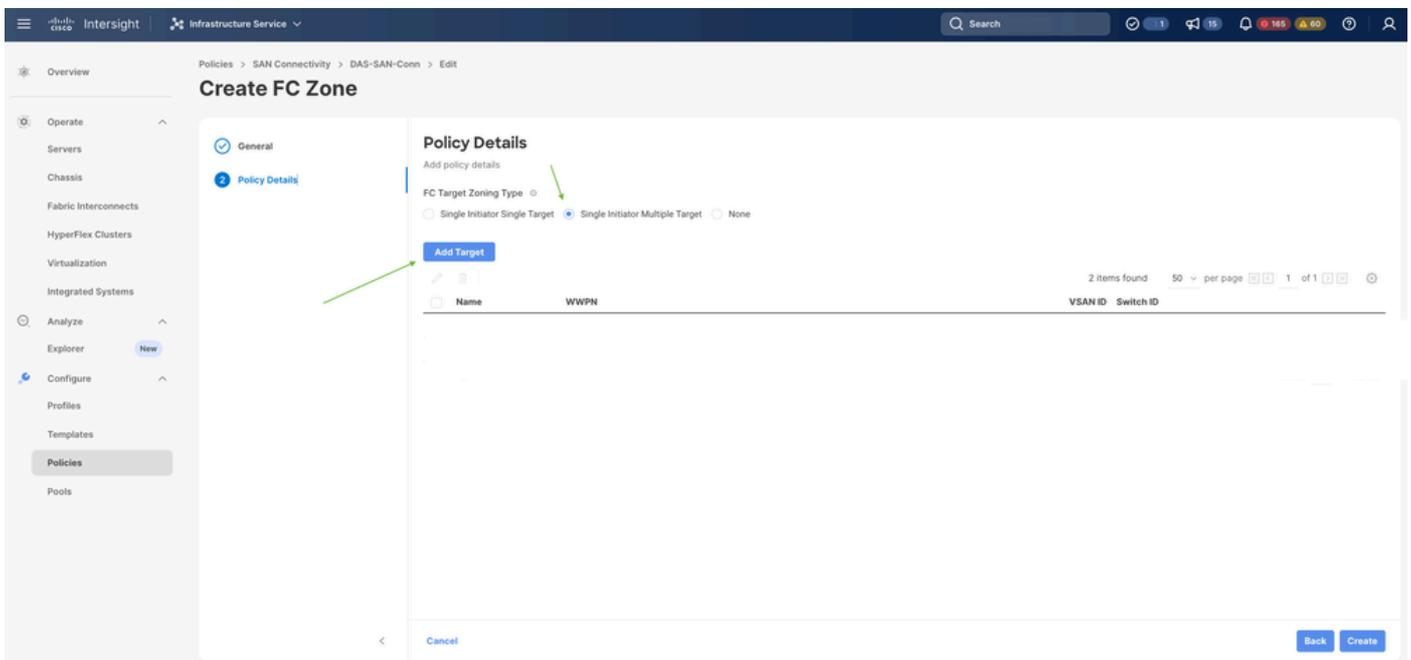
FCゾーンポリシーの選択

手順2.4 FCゾーンポリシーの作成



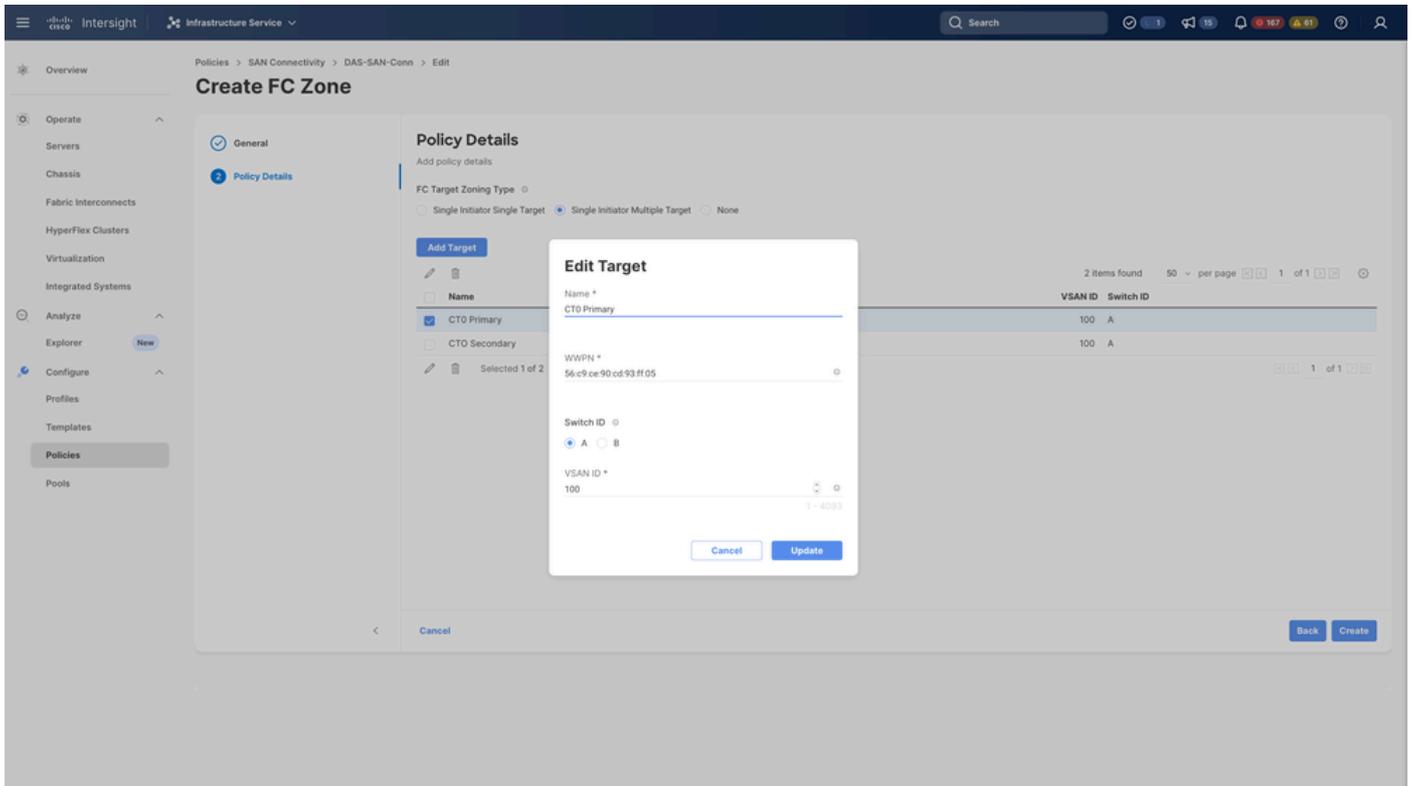
FC ZONE

- Single Initiator - Single TargetまたはSingle Initiator Multiple targetを選択し、Add Targetをクリックします



FCゾーンターゲット

- 対応するWWPN、ファブリックID、およびVSANでターゲットを設定します。



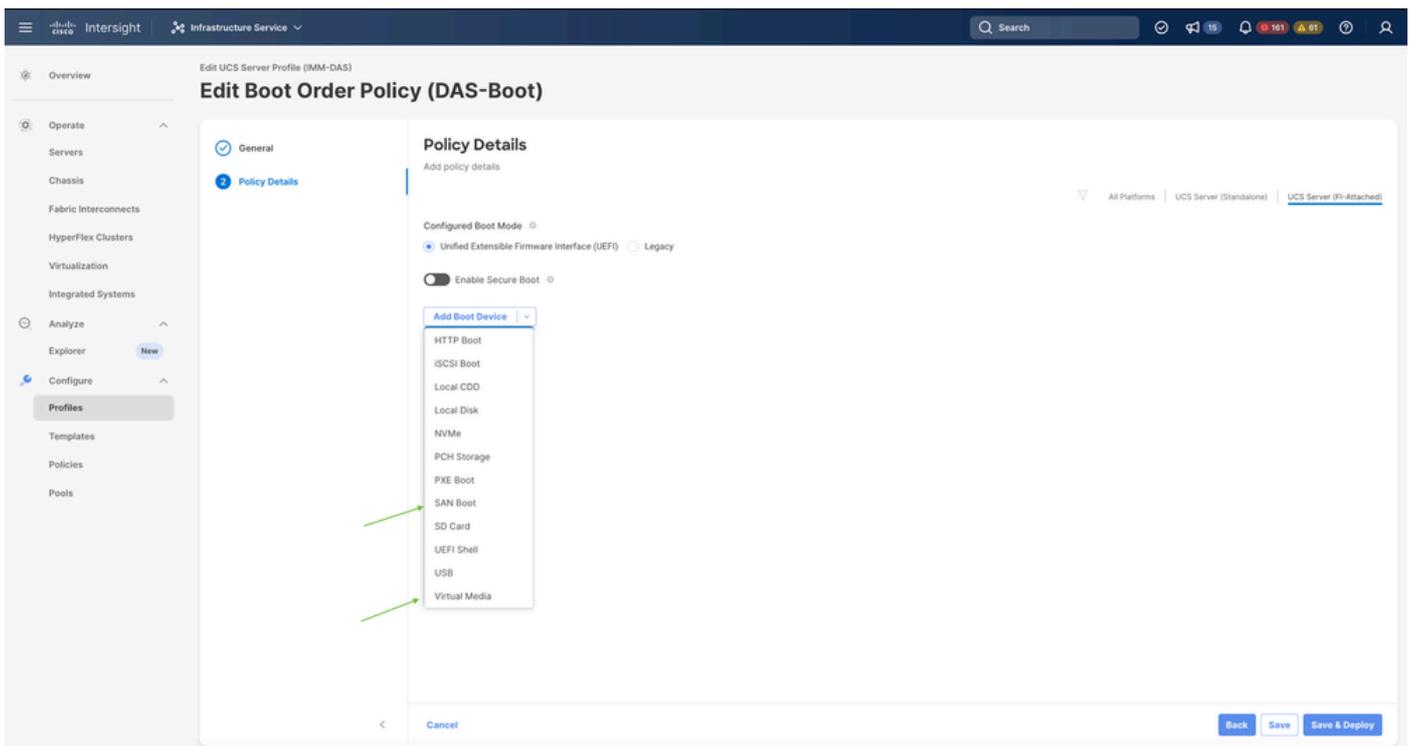
FCゾーンターゲットの設定

ステップ 3 : SANからのブート (オプション)

サーバがSANからブートする場合は、ターゲットをブートポリシーに追加します。

手順3.1ブートオプションの設定

SANブートおよび仮想メディアオプションの追加



ブートオプション

手順3.2 SANブートオプションの設定

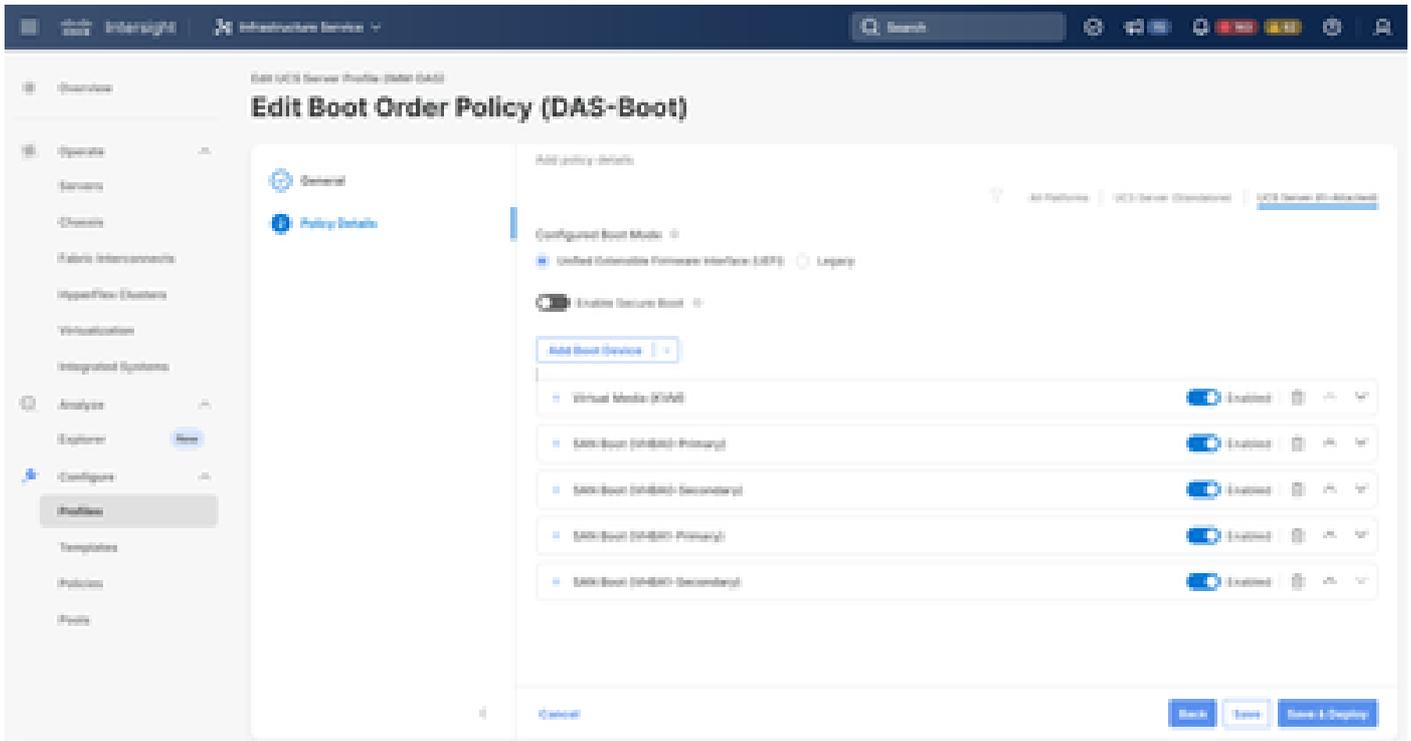
ターゲットのWWPNを、対応するVHBA名で入力します。

The screenshot shows the 'Edit Boot Order Policy (DAS-Boot)' configuration page in Cisco Intersight. The page is divided into a left sidebar with navigation options (Overview, Operate, Analyze, Configure) and a main content area. The main content area has a breadcrumb 'Edit UCS Server Profile (IMM-DAS)' and a title 'Edit Boot Order Policy (DAS-Boot)'. Below the title, there are two tabs: 'General' and 'Policy Details'. The 'Policy Details' tab is active. At the top of the main content area, there are radio buttons for 'Unified Extensible Firmware Interface (UEFI)' (selected) and 'Legacy'. Below that is a toggle for 'Enable Secure Boot' which is turned off. There is an 'Add Boot Device' button. Below that, there is a table of boot devices. The first device is 'Virtual Media (KVM)' which is enabled. The second device is 'SAN Boot (VHBA0-Primary)' which is also enabled. The 'SAN Boot' device has the following fields: 'Device Name *' (VHBA0-Primary), 'LUN' (0), 'Interface Name *' (VHBA0), and 'Target WWPN *' (56:c9:ce:90:cd:93:ff:05). There are also fields for 'Bootloader Name', 'Bootloader Description', and 'Bootloader Path'. At the bottom of the main content area, there are 'Cancel', 'Back', 'Save', and 'Save & Deploy' buttons.

SANブートオプション

 注：インターフェイス名は、VHBAに以前指定した名前と一致する必要があります。

手順3.3必要に応じてターゲットを追加し、順序を確認する



ブートオプション

トラブルシューティング

FCポートが正しく設定されていることを確認する

```
FI-A # connect nxos
FI-A (nxos) # show interface fc 1/1
FI-A (nxos) # show running-config interface fc 1/1
```

ファブリックインターコネクト上のイニシエータリストを確認するには

```
FI-A (nxos) # show flogi database vsan <vsan id>
```

特定のサーバプロファイルのVHBA設定を確認する

```
FI-A (nxos) # show run interface | grep prev 1 next 10 <Server Profile's Name>
```

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。